



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

令和元年11月19日

ケニア・ロボット若手研究者が、長崎大学長を表敬訪問

令和元年12月2日（月）にケニア共和国から将来のロボット開発を担う学生および教員団が、長崎大学での研修を行うために来学されますので、お知らせ致します。

長崎大学はケニア共和国で行われているロボットコンテストを長年支援しており、今年で11回目の全国大会がケニアの首都ナイロビで開催されました。ケニア共和国におけるロボット技術開発のさらなる発展の礎となるよう、本年度からロボットコンテスト上位入賞校4チームを対象、本学での短期研修を実施することとなりました。

ケニア共和国から学生および教員を含め16名が来学し、工学部において一週間の研修を行います。

長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点では、東アフリカ、特にケニア共和国での研究活動を50年間以上積極的に推進しており、工学系分野の代表の一つである水環境保全でも教育研究におけるなお一層の協力関係を築くよう計画しています。

当日の御取材、また研修期間中のご取材も可能でございますので、宜しくお願い申し上げます。

記

ケニア・ロボット若手研究者の長崎大学研修参加者による学長表敬

日時：令和元年12月2日（月） 11：00～11：30

場所：長崎大学文教キャンパス 事務局 第3会議室

（長崎市文教町1-14）

出席者：

（ケニア研修団） 教育省シニア事務官Mr. Elisha Ndinya Abeka 他15名

（長崎大学） 河野 茂 学長 他7名

問い合わせ先

長崎大学工学研究科国際連携推進センター

電話番号：095-819-2487

**～ 国を支える技術を学ぶ ～****ケニア・ロボット若手研究者の長崎大学工学部研修プログラム（2019年12月2日～12月6日）****《ケニアロボットコンテストの始まり》**

“通信工学やコンピューター・サイエンス、ロボティクス等の知識が合わさって、ロボットは作られる。生徒達はロボット製作工程において、チームワークも含め様々なことを学び取得することが出来る。確実に有効な実践的教育の一つであり、ケニアの発展に必要な技術的な基礎力を育てる。” 言い換えれば、JICA 牧野企画調査員が提案したこの理念が形となり、2009年度、JICAの協力と指導の下、ケニアで初めてのロボットコンテストが開催されました。

《長崎大学工学部とロボットコンテストの関わり》

長崎大学工学部は、2012年度からロボットコンテストへの賞品提供協力を始め、2013年度には教授2名がケニアでロボット製作のセミナーを行いました。2014年度には、JICAがロボットコンテストの主催をケニア教育省へ引き渡し、この年から長崎大学は手弁当で審査委員の派遣及びセミナーを開始致しました。

現在では、毎年2名の審査員を派遣すると共に、セミナーをも共催しています。特に、ケニア教育省は長崎大学工学部の継続したロボットコンテストへの協力に感謝を表し、2018年度から審査員一名分の旅費を負担しています。

《自分達の足でもう一歩先へ ―ケニア・ロボット若手研究者の長崎大学工学部研修プログラム》

2012年度からロボットコンテストを見守り続けている長崎大学工学部。このような継続的な積み重ねの中で、高い飛躍ではないけれども、着実にケニアの学生達の技術が進歩していることを実感して来ました。さらに飛躍するための後押しとなるようにと、今年度からロボットコンテストの入賞校の学生達を対象に長崎大学工学部における短期研修へ招待することを企画致しました。本来であれば、工学部が短期研修会への参加旅費を負担すべき所です。研修会参加のための旅費についてケニア側へ相談したところ、「短期間であれ、日本の技術に触れ、講義を受けることができるのなら、渡航旅費は自分達で捻出します！」という強い志のある回答を得ました。

そして、ついに12月2日からコンテストの1位から3位までの入賞校と、特別枠で参加した「ろうあ学校」の校長、教師及び生徒、さらにケニア教育省教育担当官のチーム16名が自費で長崎にやってくることになりました。

ほぼ全員が初めての海外渡航となるこのチームを迎えるにあたり、下記プログラムを計画致しました。すなわち、永らく交流を続けている「長崎」という場所をしっかりと知ってもらうための市内視察、また、研修の最終日には、ロボットが作られるところ、その技術が人々の生活をしっかりと支えている現場を見ることができるよう、「ロボット村」の見学をも組み込みました。



国立大学法人

長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

プレスリリース

《これから先へ》

今年度のロボットコンテストには、在ケニア日本大使館から堀江大使ご夫妻のご参加を頂戴致しました。さらに、ケニア日本人商工会を通して寄付金を賜り、ロボットコンテストのオリジナルT-シャツの製作・配布や、また今後の研修の際の工場視察受入れについて、幾つかの日本企業よりお申し出を頂いています。また、長崎大学工学部ではケニア教育省と教育交流に関する覚書を交わす予定となっています。

日本がその技術力で世界から認められたように、技術は国を造る大切な礎となります。これからケニアの国を造っていく若者に対して少しでも最先端の技術を伝え、両国にとってプラスを生み出すような相互交流を今後とも継続して行きたいと思っています。

ケニア・ロボット若手研究者の長崎大学工学部研修プログラム（2019年12月2日～12月6日）

12月2日（月） 於：長崎大学文教キャンパス

10：30－松田工学研究科長表敬

11：00－河野学長表敬

午後：市内見学・懇親会

12月3日（火） 於：長崎大学文教キャンパス

午前：機械工学コース研修

午後：機械工学コース研修2

15：00～16：00 留学生教育・支援センターにおいて、長崎大学の紹介と留学フェア

12月4日（水） 於：長崎大学文教キャンパス

午前：情報工学コース研修

午後：情報工学コース研修2

12月5日（木） 於：長崎大学文教キャンパス

午前：電気工学コース研修

午後：水環境、化学コース研修

12月6日（金）

北九州 安川電機ロボット村見学

12月7日（土）

長崎の歴史・文化及び平和に関する学習：平和公園、原爆資料館、長崎歴史文化博物館等視察